

1. 件 名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災訓練の事前説明について
2. 日 時：令和5年9月15日 9:55～12:00
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、武長防災専門職

（以下、テレビ会議システムによる出席）

敦賀原子力規制事務所 林原子力防災専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

新型転換炉原型炉ふげん 安全・品質保証部施設保安課マネージャー
他3名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和5年10月17日に予定されている同法人新型転換炉原型炉ふげんにおける原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 資料中の「本部」がどこに設置される本部であるのか明確にすること
- ・ 機構による要素訓練の実施にあたっては敦賀原子力規制事務所との情報共有を密に行うこと
- ・ 指標6の要素の一つになっている事故対処の能力向上に関する事項を訓練内容に明記すること
- ・ 昨年度の訓練において顕在化した更なる向上のための取組についても評価チェックリストに追記すること。

日本原子力研究開発機構から、本日の面談を踏まえ対応する旨の回答

があり、今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と日本原子力研究開発機構の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料

資料1：新型転換炉原型炉ふげん 総合防災訓練に係る5週間面談
(日本原子力研究開発機構)